

熊本県立大学における留学・研修制度について

名称	モンタナ州立大学ビルングス校 (MSUB) Winter ESL Program (冬期英語研修) (アメリカ)	祥明大 短期研修 (韓国)	モンタナ州立大学ビルングス校 (MSUB) 交換留学 (アメリカ)	祥明大 交換留学 (韓国)	カセサート大学 短期研修 (タイ)	デラサール大学 CIESOL オンライン留学 (フィリピン)	グローバル実践活動 (もやいすとグローバル育成プログラム)	開南大学 夏期中国語/英語・台湾文化研修 (台湾)	SAF*留学 (アメリカ、イギリス、カナダ、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド等)
内容	<p>1ヶ月間の語学学習と文化体験を目的とした語学研修に参加できます。ホームステイを通じて海外の文化や習慣を経験することができます。</p> 	<p>ホームステイなどを通して韓国の日常生活を体験。祥明大の学生と交流しながらの韓国語研修、百済文化探訪、ソウル市内研修等を行います。</p> 	<p>単位互換及び授業料相互不徴収を内容とした留学制度で、本学に在学したまま留学ができます。本学在学中の学部学生であれば、誰でも応募することができますが、TOEFL®PBTスコア515点(iBTの場合は68点)が必要。留学先で修得した単位は、科目により学部教授会の承認を得て単位認定されます。</p>	<p>単位互換及び授業料相互不徴収を内容とした留学制度で、本学に在学したまま留学ができます。本学在学中の学部学生であれば、誰でも応募することができます。留学先で修得した単位は、科目により学部教授会の承認を得て単位認定されます。</p>	<p>カセサート大学 (バーンケンキャンパス) の寮に滞在し、文化体験やタイ語研修等を通してタイの社会・文化に触れるとともに、学生同士の直接対話を通して相互の交流を深めることを目的としています (令和5年度(2023年度)から新しくスタートした研修です)。</p> 	<p>英会話やベーシックビジネスイングリッシュなど、クラス分けテストにより自分のレベル(12段階)に応じた効果的な英語学習ができます (Global Languagesの単位認定対象となる可能性あり)。</p> 	<p>海外インターンシップ、海外ボランティア等の実社会との接点から学びを得る学修活動。大学で用意しているプログラムとしてはカンボジアの政府機関や民間企業、NGOで約3週間、実習実践活動(インターンシップ)に参加できます。学生が自ら企画・提案することもできます。</p> <p>※参加にはTOEIC®550点以上が必要です。</p>	<p>中国語または英語の授業と台湾文化を体験。語学学習だけでなく、台湾市内の散策やパイナップルケーキ作り体験等を通じて、台湾の文化をじっくり楽しめる13日間です。現地チューターによる課題の添削や、発音練習などのサポートを受けることができます。</p>	<p>SAF大学ネットワークに加盟の欧米やオセアニアの約50の大学の中から留学プログラム(2週間の短期プログラムやサマーセッション、1年の長期留学など)を選ぶことができます。</p> <p>*SAF (Study Abroad Foundation) …2000年に設立された米国インディアナ州認可の非営利教育機関</p> 
期間	2月下旬～3月下旬 (1ヶ月間)	9月中旬 (1週間)	8月下旬～翌5月 (9ヶ月間)	3月～12月 (10ヶ月間)	2月下旬～3月初旬 (2週間)	9月 (3週間)	9月 (3週間)	8月中旬～下旬 (13日間)	2週間～1年間
費用	約80万円 (プログラム料金35万円程度、渡航費(30万円前後)等)	約8万円 (航空費、海外危機管理サービス会費・保険料等)	約120万円 ※本学授業料除く 渡航費：往復 約30万円、寮費+食費 約70万円、海外危機管理サービス会費・保険料 約15万円、教材費、手数料、使用料、雑費等。ビザ申請や予防接種の費用等	約50万円 ※本学授業料除く 渡航費：往復約10万円、寮費年間約20万円、海外危機管理サービス会費・保険料 約15万円、教材費、手数料、使用料、雑費、ビザ申請や予防接種の費用等	約20万円 (航空券、食費、移動費(日本国内、空港～大学間)、海外危機管理サービス会費、保険料等)	約5万5千円	約20万円 (航空費、宿泊費、海外危機管理サービス会費・保険料等)	約16万円 (研修費用と自己負担額の合計) ※授業料は免除	プログラムによる
	<p>※費用については、為替レートにより変動する可能性があります。</p> 								
	<p>● 学生交流協定に基づき実施される短期研修・交換留学等については、「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一定期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています。また、「グローバル実践活動」についてはプログラム参加費のうち2分の1の額の助成金(上限10万円)を支給しています。</p> <p>● 海外への留学・研修を行う学生(後援会会員のみ)に期間に応じた助成金を支給しています。</p>								

● 海外の大学等で履修した外国語に関わる授業科目について修得した単位で、本学の基準を満たした場合、「Global Languages I・II」の単位とすることができます (2023年以降入学の全学部の学生対象)。
 ● 海外の大学等で履修した授業科目について修得した単位で、本学の基準を満たした場合、単位として認め「Global Studies I・II・III」の単位とすることができます (2023年以降入学の全学部の学生対象)。
 ● 英語英米文学科では、協定校への留学、もしくはSAF (Study Abroad Foundation) のプログラムについて、本学の基準を満たした場合、「Studying Abroad I・II」の単位とすることができます (2022年以降入学の英語英米文学科の学生対象)。
 ● 休学中(ワーキングホリデー等)におけるプログラムの参加は単位認定とはなりません。
 ● 状況に応じて、各プログラムは中止や延期、もしくはオンラインでの実施に変更となることがあります。